Q&A

Q 眞光の業（手かざし）の特徴はどのようなものでしょうか？

A： 神の高次元の光である眞光の業を受けると、魂と心、肉体が浄められるだけでなく、霊の世界や、目に見えない神の実在を感じとることができるようになります。

Q 眞光の業は誰にでも簡単にできるのでしょうか？

A： 特に難しい修行のようなものはありません。満 10 歳以上であれば老若男女・人種・国籍・宗教などを問わず 3 日間の初級眞光研修会の受講によって眞光の業ができるようになります。

Q 眞光の業を受けるにはどうすればよいのですか？

A： まずはお近くの道場・拠点へお電話、もしくは直接お訪ねください。そこで眞光の業を体験することができます。



崇教眞光は、1959(昭和 34) 年に立教し、全世界 75 ヵ国に拠点を開設しています。老若男女を問わず約 100 万人の人々が眞光の業を通して、幸福に暮らせる平和な社会を目指して日々活動しています。

崇教眞光

釧路中修験道場

釧路市鳥取南 5-1-1
☎ 0154(52)5588

根室準道場

根室市曙町 3-13
☎ 0153(24)8091

中標津準道場

標津郡中標津町緑町北 1-8-11
☎ 0153(73)3265

【おことわり】お留守の時や時間の都合等で、ポストに入れさせていただく場合もありますが、不要と思われる方は誠に恐れ入りますが処分して下さいますようお願い致します。

監修 / 崇教眞光　発行所 / 弘文社：東京都府中市八幡町 1 − 4 − 3

幸せになる生き方のヒント

陽光ライフ

YōKō Life

●眞光の業と真の健康●

505 号

風邪は万病の元？
それとも健康の元!?

ホンモノの健康を
手に入れませんか



体内に蓄積されていく 不健康の素「毒素」

私たちは、添加物・農薬などの化学物質、心の健康にとってはマイナスの疲労やストレス、不平・不満など、心身にとっての「毒素」を毎日のように体内に蓄積しています。しかもこれらの「毒素」を積極的に外に排泄しようとはせずに溜めてきてしまったことが、不健康・半健康な人や病気の人が増えて来てしまった深い原因ではないかと思います。



自然治癒力、防衛反応の復活で 身体の奥からクリーニングを！

発熱、咳、鼻水、下痢などの症状が出た時、みなさんはどうされますか？　実は、これらの症状は毒素を外に出すための基本的な排泄作用（クリーニング）であり、現代医学でも発熱や下痢は「単に下げたり止めたりすれば良いというものではない」と言われています。特に発熱においては、正常な防衛反応であり、身体に悪影響を及ぼさない範囲であれば、安静と充分な栄養で経過を見た方が良いとさえ言われるようになってきました。最近では、むやみに抗菌剤（抗生物質）を使いすぎないように注意を喚起するようにもなってきています。このことから、発熱や下痢などの排泄作用は私たちの敵ではなく、健康を維持していくための強力な味方と言っても過言ではないようです。そして、もう一つの強い味方をみなさまにご紹介したいのです。



真の健康



あなたの健康の扉を開くには

それは、弱ってきてしまった人本来の自然治癒力、防衛反応を復活し、「毒素」を無理なく排泄できる業として、神様から与えられた眞光の業（手かざし）です。眞光の業とは手をかざし、手のひらから放射される神の高次元の光によって魂と心、そして体までもが浄められていく業です。これにより、体内のクリーニングを無理なく推進することができます。眞光の業によって「真の健康」への扉を開くことが可能になったのです。「真の健康」は眞光の業を受けつつ、体内に溜まった毒素を毎日コツコツと体外に無理なく排泄することが大切です。ただ、自然治癒力の弱ってきている現代人は、人本来の生命力、充分な力が蓄えられるまでは、眞光の業と医療機関での検査や診断、医薬を上手に組み合わせていくことも必要となります。「真の健康」を手に入れるための第一歩として、ぜひ一度、お気軽に崇教眞光の道場・拠点へご連絡、ご来場の上、眞光の業を体験し、一日も早く健康な人、病気をしない身体へと切り換わっていくことを心から願います。



体験談

修復した鼓膜

愛知県　三宮 大輔

5 歳の息子が「パパに耳かきをしたい」と言うのでしてもらうと、私の耳の奥深くに耳かきを突き刺してしまったのです。
激痛と大量の出血に私は気が動転し、急いで病院へ行くと、「鼓膜が破れています。運悪く、修復できない場所が破れています」と診断され、2 週間後に再検査となりました。
妻は耳への手かざしを毎日してくれましたが、手かざしに対して半信半疑だった私は〈それで治るなら医者はいらない〉と思い、耳の回復は諦めていました。
再検査に行くと、医師はびっくりした様子で「鼓膜が修復していますよ。驚きました」と言われたのです。

稀にみる酷いとびひが、きれいに！

神奈川県　齊藤 まりえ

私には、4 人の子供がおります。長男が 5 歳の頃、42 度の高熱を出しました。心配しましたが、まず手かざしをすると、だんだん楽になり、本人が「スープを飲みたい」と言います。高熱でも食欲があることに驚いたのですが、スープを全部飲み、その後も手かざしを受けて元気になっていきました。
また、長女は 3 歳の頃、腕や足が大きく深くえぐれた状態の “とびひ” にかかりました。病院では、「稀にみる酷いとびひです。痕が残るかもしれません」と言われましたが、毎日、真剣に手かざしを続けると、それ以上広がることもなく、日に日に良くなっていきました。今では、全く痕も残らずきれいな肌になりました。